

平成29年度

# 基本目標及び重点施策

英語の村てんえい元年  
未来が見える天栄の教育

天栄村教育委員会

# 平成29年度天栄村教育委員会重点施策

## 1 基本理念

少子化対策の最大の解決法は保護者の行かせたい学校、子どもたちの行きたい学校を目指すことと、住んでよかった村づくりの観点から生涯学習の充実をとおして地域コミュニティの活性化を図り、地域との関わりを更に重視し、「ひと、もの、こと」の天栄の強みを生かした教育施策を推進を図ります。

村民一人一人がお互いを思いやる心や支え合いの体制づくりを見直し、「学び」をとおして自らを高め、「学び」が連鎖して、「子どもの豊かな育ちを育む村てんえい」を学校・家庭・地域が一体となって目指します。

その実現のため、「思いやりを育む村てんえい」、「英語の村てんえい」、「ひと・もの・ことをつなぐ教育推進」を柱として、次の時代を生きることもちの生き抜く力を育成するために、ICTの活用や体験的な英語学習などをとおして、特色ある天栄の教育振興を図ります。

「村はひとつ、学校はひとつ、願いはひとつ、  
みんなで気づく（築く）未来が見える天栄の教育」

## 2 基本目標

豊かな自然と優れた文化遺産に恵まれた郷土を愛し、21世紀に生きる「たくましい心身と知性豊かな村民の育成」

「心身を鍛え、自ら学ぶ意欲的に満ちた人材の育成」  
～学校・家庭・地域が一体となって次世代につなぐ天栄の教育

## 3 重点施策

- (1) オンライン英会話教育導入による話せる英語教育の推進
- (2) ふれあいと生きがいに満ちた生涯学習の推進と活躍の場の提供
- (3) 知・徳・体のバランスがとれた、心豊かな児童生徒を育む学校教育の推進
- (4) 村民の潤いと健康を育む文化・スポーツの推進
- (5) 安全・安心な生活の推進

## 4 基本方針

### ～「英語の村てんえい」英語教育活動をとおした魅力ある天栄村～

- (1) 福島県教育委員会「第6次福島県総合教育計画」天栄村第5次総合計画（前期基本計画）天栄村教育大綱、そして天栄村教育委員会教育振興計画に基づき、円滑な推進を図る。
- (2) 学校・家庭・地域が一体となった教育推進の体制の整備を図る。（CSの取組）
- (3) 事務局は組織の充実と責務の明確化を図り、学校教育課と生涯学習課の連携・協力をもつて的確な職務の遂行に努める。
- (4) 学校給食センター、健康保健センター等と十分な連携を図り、幼児・児童生徒の安

全・安心及び健康の増進に努める。

- (5) 住民福祉課との連携を更に図り、「放課後子ども総合プラン」の確かな推進を図る。
- (6) 各種団体との連携を密にし、教育成果を村内外に積極的に発信するよう努め、適時評価を得るよう努める。
- (7) 天栄村英語活動プログラムの推進により、効果的な英語指導助手の活用や教員の英語研修・指導の充実に努める。
- (8) 各学校の特色ある学校経営を柱とし、郷土愛を育み、天栄に生まれ育ち学ぶことに誇りと自信が持てる教育の推進に努める。
- (9) 評価委員会の評価を天栄村教育行政に反映し、開かれた教育委員会を目指す。
- (10) 学校教育課と生涯学習課の連携のもと、6000村民学校応援団の充実と活用を図る。
- (11) 常に研修に努め、リスクマネジメント、クライシスマネジメント、ナレッジマネジメントを考慮した職務の遂行に努める

## 5 学校教育の推進

### 「子どもの知りたい思いを喚起する学びの創造」

～知・徳・体のバランスがとれた、心豊かな児童生徒を育む学校教育～

- 1 地域に根ざした特色ある学校づくりをとおして学力向上を図ります。
- 2 道徳教育の充実と走ることを基本とした心と体を鍛えます。
- 3 生きるための確かな学力を定着させます。(定着確認シート活用と実践)
- 4 英語教育環境の充実と話せる英語教育を実践します。
- 5 次世代を見越したどの子にも魅力ある学びの環境づくりを目指します。

- (1) 学校・家庭・地域が一体となったいじめ防止  
いじめは「どの子にも、どの学校でも起こり得る」ことを前提に、いじめの早期発見に努めるとともに、学校・家庭・地域が連携していじめ防止を図ります。
- (2) 学校・家庭・地域が一体となった道徳教育の推進  
道徳教育、ふるさと教育などにより、思いやりの心や社会貢献の精神を育むとともに、学校・家庭・地域が連携して心の教育を推進します。
- (3) 学校・家庭・地域が一体となったつなぐ教育で学力向上と進路実現を図ります。  
天栄村つなぐ教育推進会議を中心に、定着確認シート活用の成果を生かし、幼・小・中連携による確かな学力の定着を図るとともに、家庭学習の習慣化やコミュニケーション能力の向上を図ります。
- (4) 学校・家庭・地域が一体となった健康体力増進を図ります。  
放射線教育を推進し、児童生徒が安全で安心して学校生活を送ることができる生活習慣や知識の習得を図ります。運動の習慣を身につけさせ、走ることを基本に体力の増強を図ります。
- (5) 特別支援教育支援員とともに特別支援教育の充実を図ります。  
障がいのある幼児・児童生徒一人一人に寄り添い、持てる力を高めることができるよう特別教育支援員の研修の充実と配置に努めます。
- (6) 天栄の良さを生かした国際理解教育の推進を図ります。

英会話教育を導入し、英語環境の充実と英語活動・教育の向上を目指します。

- (7) 天栄の恵みを生かした学校給食の充実による食育の推進を図ります。  
児童生徒の発達段階に応じ、食育や健康などに関する正しい知識の普及と指導の充実を図ります。特に朝食の大切さを保護者と共有していきます。
- (8) 教育相談の充実に努めます。  
教育に関する悩みを気軽に相談できる体制を整え、関係機関との連携強化を図ります。  
また、教職員の精神的ストレス解消のための相談をとおして、多忙化解消に努力します。
- (9) 次期指導要領に向けた幼・小・中連携での教職員研修の充実に努めます。  
村内の教員がお互いに学び合う環境を充実させ、同僚性を発揮した学び続ける教師の育成に努めます。特に「英語の村てんえい」における英語教育・活動の共通実践を進めます。
- (10) 英会話でのコミュニケーション能力育成のため、ICTの活用推進に努めます。  
パソコンによる英会話活動、電子黒板等の有効活用やパソコンによる学習環境の整備充実による村内交流に努めるとともに、確かな情報モラルの習得に努めます。

## 6 生涯学習の推進

**各スポーツ・文化・芸術等団体の活性化をとおして  
ふれあいと生きがいに満ちた生涯学習の推進  
～ 村民一人1学習 1ボランティア 1スポーツの実現 ～**

- 1 地域住民の生涯学習欲求に応え、学びを地域で生かす学校支援に努めます。
- 2 ニーズに合った各種講座で地域住民の交流の活性化に努めます。
- 3 放課後子ども総合プランの趣旨による放課後子ども教室の充実に努めます。
- 4 村民・幼児・小学生・中学生の読書推進に努めます。
- 5 天栄スポーツクラブとの連携をとおした生涯学習推進に努めます。

- (1) 村民のニーズとこれから求められる生涯学習推進体制の整備に努めます。  
「村民一人1学習 1ボランティア 1スポーツ」の実現を目指し、生涯学習に関する各課、関係機関、諸団体との連携を進め、生涯学習推進体制の充実に努めます。
- (2) 天栄ならではの文化・スポーツの振興と推進を図ります。  
文化・スポーツ団体育成と活動の充実・強化を図り、村民の文化・芸術の成果を発表する機会を増やし、郷土愛に満ちた村民の交流と学習に努めます。  
村民に研修の機会を与え、学びの深化を図るとともに学の和を広げ、文化祭等での展示や発表につなげます。
- (3) 指導者育成に努めます。  
「てんえいスポーツクラブ」との連携を図り、スポーツ指導者の育成や発掘に努めます。  
学校支援地域本部事業により、地域の人材バンクを確立し、ボランティアの育成を図るとともにリーダー育成のための、研修会の機会の確保に努めます。
- (4) 広く生涯学習関係の情報の提供に努めます。  
広報やインターネットを活用、各種新聞等の投げ込みにより、生涯学習情報の発信を行います。

(5) 学習の機会拡充に努めます。

村民の学習ニーズと開催日や開催時間の弾力化や学習相談体制により、学習機会の充実と整備に努めます。また、学校・家庭・地域が一体となった子どもの豊かな育ちを支援するため、家庭教育充実のため啓発に努めます。そして学んで得たことをしっかり役立てられる場の設定に努めます。

(6) 「天栄村子ども読書活動推進計画」に基づく読書活動の推進を図ります。

「天栄村子ども読書活動推進計画」を改訂し、「文化の森てんえい図書室」の活用と促進を図り、様々な企画をとおして子どもの読書習慣を育むとともに、読み聞かせ等の図書ボランティアの育成に努めます。

(7) 施設活用の充実に努めます。

生涯学習センター運営の充実をもって、安全・安心な施設運営に努め、村民の利便性を図ります。また、社会教育での学校施設の利用の充実を図り、活動の輪を更に広げるよう努めます。

スポーツ少年団と連携を図り、子どもの運動不足解消に努めるとともに中学校部活動との連携を図ります。

## 7 重点行事・事業

(1) 関係機関との確かな連携による「英語の村てんえい」の推進

別紙「英語の村てんえい」英語活動プログラムを確かなものとしします。

(2) 特色ある学校経営をとおした地域力教育力向上

学校の特色ある学校経営を応援します。学校が地域の核となり、天栄の良さを発見する活動をとおして、コミュニケーション能力や郷土愛、天栄の良さを再発見し、学校を中心とした地域活性化を支援します。

(3) つなぐ教育推進会議による幼・小・中一貫教育の充実

村内の幼・小・中連携からもう一步融合へ。学び続ける天栄の教師集団が児童生徒に21世紀を生き抜く力を身につけさせるために授業力を磨きます。特に英語教育推進のため、共通理解のもと共通実践で成果を確かなものとする。

(4) 効果ある公営塾サマースクールてんえい実施

夏期休業中、村内小学校6年生が天栄中で学習を中心とした交流会を開催します。今年度は学習だけでなく英語学習や外部講師を招くなど内容や方法を工夫します。

(5) 天栄村英語推進部会の充実

先進的な英語教育・活動の中心的役割と天栄村公立学校職員の共通理解を図り、英会話の有効活用とALTのあり方や、英語環境の整備や教師の英語研修等充実に努める。

(6) 天栄版コミュニティスクールの実現

てんえい6千村民学校応援団（学校支援地域本部事業の推進）を核として地域の住民による天栄の教育の方向性を確認し、学校・家庭・地域が一体となった確かな天栄の教育を展開します。

(7) 天栄教育祭の実施

日頃の学習活動の成果を地域の方々に披露し、子どもの作品や教職員の研究・実践等の展示をとおして、地域コミュニティの活性化を図るとともに、村民の教

育に対する関心を高めます。

(8) 第32回羽鳥湖畔マラソン大会の開催

子どもから大人まで村一丸となって盛り上げ、地域コミュニティの活性化を図るイベントとなるよう工夫します。時代に即した新たな大会のあり方を模索していきます。

(9) 第53回天栄村文化祭の開催

学校教育活動の紹介と、生涯学習の発表の場として、村文化祭を若者が積極的に参加できる企画をもって次世代の天栄村文化祭の姿を構築します。

(10) 天栄村子ども読書推進事業の充実

「天栄村子ども読書活動推進計画」に基づき、文化の森てんえい図書室が核として学校図書室と連携をして子どもの読書活動推進を図ります。

(11) 「思いやりを育む推進委員会」活動の充実

天栄村青少年育成村民会議と教育委員会、学校、家庭、地域が同じ思いを共有し、思いやりを育む推進活動を通して、いじめの防止啓発に努力します。

(12) 各課連携による「英語の村てんえい」の実現

各課ができる「英語の村てんえい」の形を協議し、村全体で推進を図る。「今あることから、できることから、かれることから実現していきます。

